

合併特例事業債を活用して実施した主な事業

※金額は合併特例事業債の活用額(令和7年度分の見込み額を含む)

／ 学 校 ／

95.2 億円
小中学校の大規模改修(9校)・
長寿命化等の改修(18校)・
増築(7校)

27.9 億円
エアコン整備(1134教室)

13.5 億円
中央学校給食センターの建設



／ こども ／

4.1 億円
放課後児童クラブの整備
(18施設)

16.7 億円
認定こども園の整備(4園)



／ スポーツ・文化 ／

44.8 億円
久居アルス
プラザの整備

11.5 億円
市民テニスコートの整備

139.7 億円
産業・スポーツセンターの
整備



／ 防災・消防 ／

3.9 億円
防災物流施設の整備



23.9 億円
消防署(2署)・
分署(4署)などの整備



／ コミュニティ ／

2.1 億円
津南防災コミュニティ
センターの整備



2.8 億円
新町会館の整備



／ 環境・斎場 ／

75.6 億円
新最終処分場・
リサイクルセンターの整備



21.6 億円
新斎場
いつくしみの杜の整備



／ インフラ ／

11.7 億円
上浜元町線の整備
(道路の新設・改良)

15.0 億円
半田久居線・雲出野田線の
整備(道路の新設・改良)

2.1 億円
道の駅 津かわげの整備



積み重ねた20年の先へ

特例債は令和7年度で発行期限を迎えます。津市は、これを見据えて他の財源を確保し、国の補助金等を活用して、大谷踏切の拡幅や津興橋の架け替えといった大規模な整備を進めてきました。

同じく今年度、さらなる財源として地方創生第2世代交付金の採択を受け、総事業費48億円で6つの事業がスタート。そのうち18億円を投じるのが、次世代を担うこどもたちのための公園づくりです。

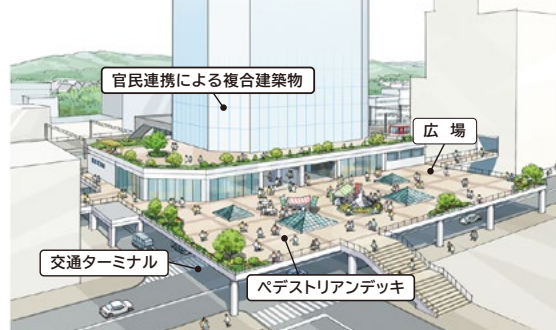
この公園づくりは、「こどもまんなか社会実現会議」を開催し、子育て当事者の皆さんに関わっていただきながら進めています。市民の声を共にする。この市民参画を促す新たなスタイルは、他の分野でも取り入れています。

中心市街地である大門・丸之内地区は、多様な関係者で設立したエリアプラットフォームが主体となって官民一体でまちづくりに挑戦して

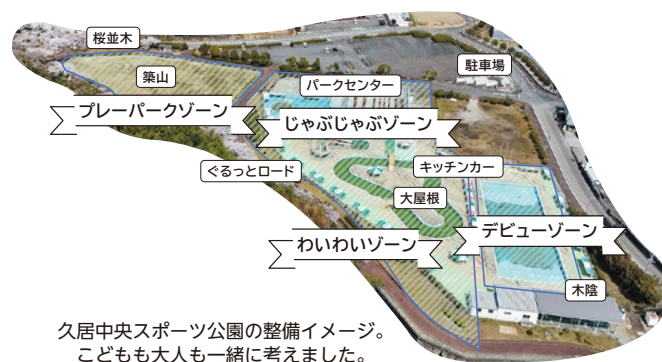
おり、公園を利用した社会実験やシェアサイクルの導入実験を重ねながら、新しい人の動きを生み出しています。津駅西口駅前広場の整備では、これまでに4回の意見募集を行い、全部で736件もの前向きな意見をいただきました。そして皆さんの声を反映させ、昨年7月、津駅周辺の基盤整備についての方向性(ビジョン)を策定。これを踏まえ、国・県・市が連携した取り組みが今年からさらに加速していきます。

令和8年は津市にとって、合併20年の区切りを迎え、新しい章が始まる年です。知恵をしばり、あらゆる財源を活用しながら、次世代を見据えた公共投資を続け、市民の皆さんの期待に応えるまちづくりに努めていきます。

積み重ねた20年の、その先へ。ここから新しく始まる「私たちの津市」のストーリーに、どうぞご期待ください。



約50年ぶりの駅前再編に向けた可能性を追求。



久居中央スポーツ公園の整備イメージ。こどもも大人も一緒に考えました。

